



高西小だより

H24. 10. 29(月) 校長:古屋 N014

学校教育目標

夢を切り拓く
心豊かで
たくましい子ども

10月末を迎え、朝夕の冷え込みがだいぶ厳しくなってきましたが、日中は小春日和の温かい日が続きます。この「小春日和」とは、晩秋から初冬にかけての穏やかで暖かい天候のことですが、「小春」という言葉が陰暦の10月、現在の太陽暦では11月頃にあたり、この頃の陽気が春に似ているためこう呼ばれるようになったと言われています。それにしても、日本には「神無月」「雪待月」「初冠雪」「氷雨」など季節や天候を表す美しい日本語がたくさんあります。これからも機会あるごとにその季節の風情や趣を子どもたちへ伝えていきたいものですね。

さて、2学期は、夏、秋、そして冬へと3つの季節が過ぎる中、運動会をはじめ多くの行事や学習に取り組んでいきますが、いよいよ後半に入りました。これからむらやま祭の準備をはじめ各教科の学習面での充実も図っていかねければなりません。10月に入って欠席0という日が数日あり、とてもうれしく思ったところですが、これからも子どもたちが笑顔で元気よく学校に来られますよう心身両面でのご支援とご協力をよろしくお願い致します。

六ヶ村せぎウォーク 今年はお弁当付きでした！(4年生)

10月15日、六ヶ村せぎウォークが行われました。今年は、東小、北小と一緒に。まずは、村山六ヶ村せぎの水源である川俣川東沢の「吐竜の滝」を見学し、ウォークがスタートしました。村山六ヶ村せぎは、およそ千年前、八ヶ岳の広大な南麓に広がる六つの村の灌漑用水、生活用水として作られたせぎですが、今でも私たちの生活と深い繋がりがあるだけに目を輝かせて聞いていました。景観の良さに、「今度は家族とお弁当を持って来たい。」と話す子もいたようです。



説明のメモをとる目も真剣です。

せぎの水で発電される様子がよく分かりました。 やったね。今年はお弁当付きだよ。

雨にも負けず風にも負けず…八ヶ岳の大自然を体感！

今年防災教育の一環としても学びました！ (10月18~19日)

5年生の自然教室が県立八ヶ岳少年自然の家を舞台に行われました。初日の18日は、あいにくの雨模様だったので、飯盛山登山は断念し、終点であった「しし岩」で講師の内藤久敬先生に岩石や八ヶ岳の成り立ちについて教えてもらい自然教室がスタートしました。

今年は、教頭先生の指導のもと、あの東日本大震災を受け、この宿泊や野外炊事を伴う貴重な自然教室を防災教育や避難所生活体験と結びつけて行いました。「高所への避難と登山」「炊き出しや保存食調理と野外炊事」「停電・暗闇とナイト追跡」「体育館でのシュラフ就寝」等、自然の家の活動プログラムと地震防災との関連が至る所にあることが確認でき、大きな成果を上げることができました。



この日は雨だったので、事前に準備したわりばしが最高の役割を果たしました。



うまそうなカレー！早く食べたいな。



おいしい！薄暗くちょっと寒い時でしたが、カレーの味に笑顔いっぱいです。



友情のウォールは高い壁をみんなの力で一人ひとり乗り越えます。



沢の上を渡るケーブルサーキットは人気ナンバー1！



ぶらんこブリッジは一斉に渡るのでとてもゆれ、手に力が入りました。



ペットメイキングをしっかり覚えておかないと退所時の点検が大変です。



雨プロの竹トンボづくり。この後の「飛ばしっこ」は楽しかった！



国の天然記念物「やまね」ってこんなに小さいんだ。

地域の繋がりで美しいふるさとを！ (菜の花プロジェクト)

3年目を迎えたプロジェクトが多くの参加者の中で、25日、小池地区の畑で行われました。今年も田んぼの学校でお世話になっている山本林仁さんに指導して頂きましたが、そのお話の中には、「ふるさと」という言葉が何回も出てきました。ここ「むらやまの里」に子どもたち、地域の方々、関係機関の方々が一堂に会し、この「菜の花プロジェクト」を通して美しいふるさとにしようとする取り組みは、今日のキーワードである「絆」と深く結び付きとても良い機会になっていると思います。今から冬の寒さにじっと耐えて、来春一面に咲く菜の花と八ヶ岳の光景が楽しみです。

菜の花が「オオカミ」のおしっこで守られているって知っていましたか？！

昨年、菜の花畑の隅っこに何本かの棒が立ち、その棒に小さい醤油ケースのような物が付き、何か液体が入っているのをご覧になった方もいるかと思いますが、実は、オオカミのおしっこだそうです。

最近、この地域でも農作物を食い荒らす「鹿」避けのために購入して付けてたそうです。効き目抜群で、昨年は菜の花を喰われることは全くなかったようです。鹿の本能を利用したとてもうまい方法だと思いましたが、1本8,000円以上すると聞いてビックリ。きれいな菜の花を咲かせるには、ただ播けばいいということではないようです。ちなみに「おしっこ」は通販で購入しアメリカ製(USA)だということです。日本オオカミがもし絶滅しなければもっと安いでしょうね・・・。



総勢約250人が集結しました。



砂に混ざった種を列ごとに播きました。



手紙に願いを込めて。

「健康づくり標語」で入選！おめでとう！

- 北杜市長賞 「北杜の子 元気のひみつは 朝ごはん」
- 佳作 「ごはんはね 元気になれる まほうだね」

- 清水 千夏 (6年)
- 中村 楓 (6年)